

東京藝術大学

ダイバーシティ月間

CELEBRATE DIVERSITY IN TOKYO GEIDAI

2019

多様性が明日の東京藝大をつくる

シンポジウム

女性・芸術・キャリア

6月30日(日) 13:00-16:00 | 上野校地 美術学部 第1講義室

トークセッション

女性のアーティストが親になる時

6月22日(土) 13:00-15:00 | 上野校地 音楽学部 5-109教室

ファミリーコンサート

音もだち航空で行く 世界の音楽ツアー

6月23日(日) 14:00-15:30 | 上野校地 音楽学部 第1ホール

上映+ミニレクチャー

Queer Animation Screening!

201Q クィア・アニメーション上映+ミニレクチャー!

7月7日(日) 14:00-17:00 | 横浜校地 馬車道校舎 大視聴覚室

トークセッション

聞こえる人と聞こえない人の「音楽」をめぐるトーク

7月16日(火) 18:30-20:30 | 上野校地 美術学部 第1講義室

<http://diversity.geidai.ac.jp/diversitymonth>

女性・芸術・キャリア

生き方や働き方が多様化し、ジェンダーに関する価値観や規範も大きく揺れ動いている今、女性のアーティスト／クリエイター／研究者は、どのようにキャリアを築くことができるのか？ また、それらの人々に対して芸術系大学は何ができるのか？ これからの社会で求められるクリエイティブ人材とは？ 個人で、大学で、企業で独自のキャリアを切り拓いてきたアーティストや研究者が、さまざまな観点から語ります。

日時	2019年6月30日(日) 13:00-16:00 (12:30 開場)
会場	東京藝術大学上野校地 美術学部 中央棟 1F 第1講義室 (東京都台東区上野公園12-8)
対象	どなたもご参加できます (入場無料 申込不要 先着180名)

女子学生が全体の6～7割以上を占める日本の芸術系大学は、イノベーションが生まれる社会作りに不可欠な「女性」「クリエイティブ人材」の宝庫！

しかし実際には、教授や准教授は圧倒的に男性が多く、女性のアーティストや研究者のキャリアパスが可視化されづらい状況が続いています。そのため、「出産や育児などによって、キャリアを諦めたり中断したりするケースがいまだに多い」「女子学生が参考にできるロールモデルが少なく、自分の将来像を描きづらい」「芸術領域によってはジェンダーバイアスが根強く残っている」といったケースが後を絶ちません。

東京藝術大学ダイバーシティ推進室では数々の活動を通して、芸術分野の女性がキャリアを築いていく過程で直面する課題を探ってきました。進む道が一人ひとり異なるように、向き合い方もさまざまです。今回で4回目を迎えるシンポジウムでは、より多くの人々が、性別や立場や専門領域を超えて課題を共有し、ともに考え、次世代に向けて多様な可能性を示すことを目指します。

プログラム

第1部 「私流キャリアの築きかた」 13:05～14:25

一人の表現者として、「女性であること」とどのように向き合ってきたのか？
美術・音楽の第一線で活躍する本学出身のアーティストが、キャリアをふり振り返りながら語ります。

宮永愛子 (美術家)



Photo by MATSUKAGE
©MIYANAGA Aiko
Courtesy Mizuma Art Gallery

1974年京都生まれ。2008年東京藝術大学大学院修士課程修了。日用品をナフタリンでかたどったオブジェや、塩、陶器の貫入音や業脈を使ったインスタレーションなど、気配の痕跡を用いて時を視覚化する作品で注目を集める。2013年「日産アートアワード」初代グランプリ受賞。主な個展に「みちかけの透き間」大原美術館有隣荘(岡山,2017)、「宮永愛子：なかぞら一空中一」国立国際美術館(大阪,2012)など。7月に高松市美術館にて個展「漕法」を開催予定。

三ツ橋敬子 (指揮者)



©大杉準平

東京藝術大学及び同大学院を修了。ウィーン国立音楽大学とギジアーナ音楽院に留学。第10回アントニオ・ベドロッチ国際指揮者コンクールにて日本人として初めて優勝。第9回アルトゥーロ・トスカニーニ国際指揮者コンクールにて女性初の受賞者として準優勝。併せて聴衆賞も獲得。第12回齋藤秀雄メモリアル基金賞を受賞。2016年から神奈川県立音楽堂にて「三ツ橋敬子の新★夏休みオーケストラ」がスタート。子供たちへ多彩な音楽体験を届ける企画内容が好評を得ている。

第2部 「大学・企業におけるキャリア展開支援」 14:40～16:00

日本における音大生・音楽家のキャリア展開支援の第一人者である研究者と、先進的な女性のキャリア支援の取組で知られる資生堂のチーフクリエイティブオフィサーが、これからの多様化社会で必要とされるキャリアについて語ります。

久保田 慶一 (音楽キャリアデザイナー)



東京藝術大学大学院修士課程を修了。フライブルク大学、ハンブルク大学、ベルリン自由大学に留学。東京学芸大学教授を経て、現在、国立音楽大学教授。音楽学博士(東京藝術大学大学院)のほか、芸術学修士(東京藝術大学大学院)、カウンセリング修士(筑波大学大学院)、経営学修士(首都大学東京大学院)。音楽キャリア関係の著書に、「音楽とキャリア」、「モーツァルト家のキャリア教育」「2018年問題とこれからの音楽教育」「音大・美大卒業生のためのフリーランスの教科書」などがある。

山本尚美 (株式会社資生堂 チーフクリエイティブオフィサー)



1987年武蔵野美術大学卒業後、資生堂宣伝部入社。国内外の広告制作および空間演出のデザイナー、アートディレクターを経て、ニューヨークに渡来。2004年帰国後、マキアージュや中国ブランドのクリエイティブディレクターを歴任し、2013年にクリエイティブエグゼクティブプロデューサーを経て、2015年に宣伝デザイン部長。2018年からクリエイティブ本部長、チーフクリエイティブオフィサーに就任。2019年より社会価値創造副本部長を兼務。

モデレーター：岡本美津子 東京藝術大学副学長 (国際・ダイバーシティ推進担当)・映像研究科教授
主催・お問合せ 東京藝術大学ダイバーシティ推進室 diversity@ml.geidai.ac.jp

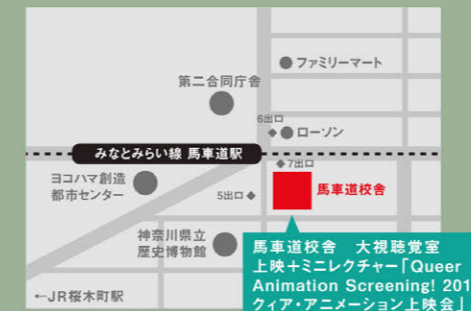
会場アクセス

上野校地

東京都台東区上野公園12-8
JR「上野」駅(公園口)「鶯谷」駅 徒歩10分
東京メトロ銀座線・日比谷線「上野」駅 徒歩15分
京成電鉄「京成上野」駅 徒歩15分

横浜校地

横浜市中区本町4-44
みなとみらい線「馬車道」駅 5、7出口すぐ



音楽、美術、映像 ……あるいはジャンルを超える表現者たちの声を通して
東京藝術大学、そして芸術の多様性を発信します。

トークセッション 女性のアーティストが親になる時

子どもを持つことは、アーティストの創作活動にどのような影響をもたらすのか？なぜ、女性アーティストの方が男性アーティストよりも作家活動と子育ての「両立」に苦勞するという構図が根強いのか？国内外で活躍するアーティストたちが自らの経験を語ります。

スピーカー 岡田裕子 (美術家) 長島有里枝 (写真家) 山本麻世 (美術家)



日時 2019年6月22日(土) 13:00-15:00 (12:30 開場) 会場 上野校地 音楽学部 5-109 教室

入場無料 申込不要 定員先着180名

主催・お問合せ：ダイバーシティ推進室 diversity@ml.geidai.ac.jp

0歳から大人まで楽しめるファミリーコンサート 音もだち航空で行く世界の音楽ツアー

本物のクラシック音楽を幅広い層に届けたい——。子育てをしながら音楽家のキャリアを築いている本学出身の声楽家らが、育児経験を反映させた演奏活動の一環として企画したコンサート。客室乗務員や旅行者に扮し、世界各国の歌で皆様を愉快でロマンチックな旅に誘います。

出演 臼木あい (ソプラノ) 藤井直美 (ソプラノ) 森永美穂 (ソプラノ) 大槻孝志 (テノール) 向井育子 (ピアノ&リトミック) 川地咲由里 (ピアノ)



日時 2019年6月23日(日) 14:00-15:30 (13:30 開場) 会場 上野校地 音楽学部 第1ホール

入場無料 要申込 <http://diversity.geidai.ac.jp/aroundtheworld>

主催・お問合せ：ダイバーシティ推進室 diversity@ml.geidai.ac.jp

上映+ミニレクチャー Queer Animation Screening! 201Q クィア・アニメーション 上映+ミニレクチャー!

長い歴史がありながら、これまで日本では観る機会の少なかったクィアなアニメーション。LGBTQの人々の複雑な経験をアニメーションならではの手法で自由に表現した国内外の短編15作品以上を解説とトークを交えながら上映する特別企画!

ゲスト 松下千雅子 (名古屋大学人文学研究科ジェンダー学分野教授)



「マニフォールド」
シンティス・ルンドグレン



「ガイダンス」
デイヴィッド・デラフェンテ



「ラフストローム」
ショーン・バックリュ



「アイライク ガールズ」
ディアン・オバムサワイン



「だれかのからだ」
マルタ・マグナスカ

日時 2019年7月7日(日) 14:00-17:00 (13:30 開場) 会場 横浜校地 馬車道校舎 大視聴覚室

定員90名 (13:00 整理券配布開始) 予約不要 <https://twitter.com/animationqueer>

入場料 500円

※藝大フレンズ会員・本学学生・教職員は入場無料
※本イベントのトーク部分では手話通訳が付きま
※すべての作品に日本語字幕が付きま (バリアフリー字幕ではありません)

企画：矢野はなみ 運営：ノーマルスクリーン
主催：映像研究科
共催：ダイバーシティ推進室
助成：藝大フレンズ助成金
協力：新千歳国際空港アニメーション映画祭
お問合せ：queer.animation201q@gmail.com

トークセッション 聞こえる人と聞こえない人の「音楽」をめぐるトーク

ろう者と聴者それぞれが考える音楽について、ろう者の映画監督と舞踏家、聴覚に頼らない音楽を考える音楽家、あらゆる境界を超えた表現を追求する美術家たちがディスカッション。新たな「音楽」の解釈を探ります。

スピーカー 牧原依里 (映画監督) 平境 DAKEI (舞踏家、アーティスト) 和田夏実 (インタプリター、アーティスト) 小野龍一 (音楽家、アーティスト) 日比野克彦 (アーティスト) 箕口一美 (ライヴアーツキュレーター) モデレーター 荒木夏実 (キュレーター、美術評論家)



日時 2019年7月16日(火) 18:30-20:30 会場 上野校地 美術学部 第1講義室

入場無料 申込不要 定員先着100名 手話・和英通訳つき

主催：美術学部先端芸術表現科 国際芸術創造研究科アートプロデュース専攻
美術研究科グローバルアートプラクティス専攻
お問合せ：mino2019@ml.geidai.ac.jp